

新たな火山防災協議会 設置の経緯について

これまでの経緯

H26.7 箱根火山防災協議会の設置

H26.9 御嶽山の噴火

H27.12 改正活火山法の施行

H28.2 火山災害警戒地域の指定

⇒ 箱根山火山防災協議会(法定)
の設置

御嶽山噴火の教訓

レベル1で突発的に噴火……多くの方が犠牲に

○ 水蒸気噴火→比較的発生予測が難しい

- ⇒ (1) 登山者等への情報提供・避難対策
(2) 観測体制の強化

○ 火山ごとの防災体制の差 (多くの火山は県境にある)

- ⇒ 火山防災協議会の位置づけの明確化

改正活火山法の概要

◎ ソフト対策の充実

| 主体 | 義務 |
|-----------------------------------|-------------|
| 国 | 火山災害警戒地域の指定 |
| 火山災害警戒地域内の 都道府県・市町村 | 火山防災協議会の設置 |
| 市町村が指定した 交通関係施設、宿泊施設、 集客施設等 | 利用者の避難計画の作成 |

火山防災協議会の概要

(2) 構成員

| 構成員 | | 主な役割 |
|--------------------|----------------|----------------------------|
| 必須構成員 | 都道府県知事 市町村長 | 協議会の設置主体 一連の警戒避難体制全般を検討 |
| | 気象台 | 情報収集・伝達体制の検討 |
| | 地方整備局 | 噴火に伴う土砂災害対策 |
| | 陸自、警察、消防 | 噴火時等の救助活動や避難誘導 |
| | 火山専門家 | 専門的見地からの助言 |
| 地域の実情に応じて必要な構成員を追加 | | |